

# BL認定制度

「優良住宅部品（BL部品）認定制度」は、優良な住宅部品の技術開発と住宅産業の健全な育成を図り、人々の生活水準の向上と消費者の保護を推進することを目的として、品質、性能、アフターサービス等に優れた住宅部品の認定を行い、普及を図るための制度として1974年に創設されました。

認定商品には、(財)ベターリビング発行のBLマーク証紙を貼付してあります。

また、BLマークの貼られた商品には、2年間の品質保証の保険と事故の場合の賠償責任保険が付いています。これにより、メーカーが十分なアフターサービスを行ないます。

## サッシ(RC造住宅用サッシ・アルミサッシ)

### サッシ(RC造住宅用サッシ・アルミサッシ)のB・C型とは

- ①コンクリート系住宅に用いるアルミニウム合金製の使いやすいサッシです。
- ②アルミサッシには次の2タイプがあります。
  - B型…アルミサッシに必要な諸性能を満たしたベーシックモデル
  - C型…引違い戸、引違い窓の特に遮音性能を配慮した高性能タイプ

アルミサッシは次のような種類があります。

#### ■区分

表1

種 類			備 考
アルミサッシ B型	一般型	200型	JIS A4706 <sup>2000</sup> (サッシ)による耐風圧性の等級S-4に該当するもの
		280型	JIS A4706 <sup>2000</sup> (サッシ)による耐風圧性の等級S-6に該当するもの
	長寿対応型	200型	JIS A4706 <sup>2000</sup> (サッシ)による耐風圧性の等級S-4に該当するもので長寿対応型の特記事項を満たしたものの
		280型	JIS A4706 <sup>2000</sup> (サッシ)による耐風圧性の等級S-6に該当するもので長寿対応型の特記事項を満たしたものの
アルミサッシ C型	一般型	280型	JIS A4706 <sup>2000</sup> (サッシ)による耐風圧性の等級S-6に該当するもの
		360型	JIS A4706 <sup>2000</sup> (サッシ)による耐風圧性の等級S-7に該当するもの
	長寿対応型	280型	JIS A4706 <sup>2000</sup> (サッシ)による耐風圧性の等級S-6に該当するもので長寿対応型の特記事項を満たしたものの

#### ■性能

表2. アルミサッシB型、C型の性能

性 能		B型		C型	
耐風圧性		S-4	S-6	S-6	S-7
気密性		A-3		A-3またはA-4	A-4
水密性		W-4		W-4またはW-5	W-5
遮音性		21dB以上 (100~2,500Hzの単純平均値)		25dB以上 (100~2,500Hzの単純平均値)	
たてかまち 戸先強度	面外方面	垂直方向(集中荷重)5kgでたわみ量3mm以下			
	面内方面	水平方向(集中荷重)5kgでたわみ量1mm以下			

(注) B型、C型は、JIS A4706<sup>2000</sup>に準拠する。ただし、B型の遮音性はこれによらない。  
また、B型のがらり付きの機種はこれによらない。遮音性能は5mm厚ガラス使用時のものとする。

サッシ (RC造住宅用サッシ・断熱型サッシ)

RC造住宅用の断熱型サッシとは

- ①コンクリート系の戸建住宅、集合住宅に使用するサッシで、冷暖房効果を高める省エネルギータイプのサッシです。
- ②既存のサッシに後付けする雨戸、内窓等は含まれません。

■区分と性能

RC造住宅用の断熱型サッシは地域区分により、次のように区分されます。

表1

名称	地域区分との対応	断熱性 (熱貫流率)	性能 (JIS A4706 <sup>2000</sup> (サッシ))		
			気密性 (等級)	耐風圧性 (等級)	水密性 (等級)
RC造住宅用	S型	S型は「住宅に係るエネルギーの使用の合理化に関する建築主の判断基準 (平成11年通商産業省・建設省告示第2号) による全地域に対応する中で特に高性能な断熱型サッシ	A-4	S-4またはS-6	W-4
	1型	1型は、同II～VI地域に対応し高性能な断熱型サッシ			
	2型	2型は、同II～VI地域に対応し一般的な断熱型サッシ	2.91 < U ≤ 3.49		
	3型	3型は、同III～VI地域に対応し高性能な断熱型サッシ	3.49 < U ≤ 4.07		
	4型	4型は、同III～VI地域に対応し一般的な断熱型サッシ	4.07 < U ≤ 4.65	A-3	

(注) Uは熱貫流率を表し、「W/(m<sup>2</sup>・K)」を単位とする。

■次世代省エネルギー基準に基づく開口部の推奨熱貫流率

次世代省エネルギー基準		
地域区分	熱貫流率 W/(m <sup>2</sup> ・K) [kcal/(m <sup>2</sup> ・h・°C)]	対象地域
I地域	2.33 [2.0]	北海道
II地域	3.49 [3.0]	青森、秋田、岩手
III地域	4.65 [4.0]	宮城、山形、福島、栃木、長野、新潟
IV地域	6.51 [5.6]	茨城、群馬、山梨、富山、石川、福井、岐阜、滋賀
V地域		埼玉、千葉、東京、神奈川、静岡、愛知、三重、京都、大阪、和歌山、兵庫、奈良、岡山、広島、山口、島根、鳥取、香川、愛媛、徳島、高知、福岡、佐賀、長崎、大分、熊本
VI地域		宮崎、鹿児島
		沖縄

\*熱貫流率の単位がISO基準に基づきkcal/(m<sup>2</sup>・h・°C) から、W/(m<sup>2</sup>・K) に表現が変わりました。(実質上の性能値の変更はありません。)

